

2024年3月期第2四半期 決算IR説明会 質疑応答概要

1. 日 時 2023年11月9日(木) 16:00~16:44
2. 場 所 東京本社7F カンファレンスルームとオンライン会議の併用
3. 質 疑 応 答
- 質問 稼働率が期初予想を上回って配属可能人員が少なくなり、高単価の案件を受けられない、そして対価向上に苦勞する、というリスクが下期に発生しますか。
- 回答 結論は発生しません。エンジニア社員の契約対価は業務内容に応じて設定します。エンジニア社員を配属する時点で、すべての受注案件をチェックした上でアサインしますので、ご心配のリスクが発生することはありません。
- 質問 上期の足元の動向を踏まえても、特に心配は無いという理解で良いですか。
- 回答 はい。
- 質問 メイテック単体の稼働時間は2Qの3カ月間だけを比べると、少し強めに落ちている印象です。全体で労働時間は短くなっていますが、それ以外に特殊な要因がありましたか。
- 回答 ありませんでした。
- 質問 新卒採用で在籍人数を増やしてきた中、メイテック単体の新卒採用の内定者数が計画未達になったことで、在籍人数増加への期待が下がるリスクはありますか。
- 回答 持続的に価値を提供できる企業として存在し続けることが社会的な役割と認識しています。よって、目先の人数だけを増やすための採用、といった一過性の活動は経営として採択しません。今後も、当社グループは採用基準を堅持しながら、新卒採用とキャリア採用の2本の軸で進め、期待が下がらないように努めます。
- 質問 採用基準の維持は理解しますが、新卒学生の奪い合いが短期間で緩む、と想定することは難しいと思います。そうすると、今回の採用内定者数350名が今後数年間の基準となりますか。また、以前の500名水準には戻さない、と理解しても良いですか。
- 回答 採用競争が非常に激しいことは事実ですが、今回の採用内定数へ基準を引き下げる予定はありません。今回は目標未達となりましたが、今後も、環境変化に追従しながら、母集団形成の方法や接点の持ち方など、最善と考える打ち手を講じて、採用の強化に努めます。
- 質問 10月の内定から来年4月までの間に、追加募集を考えていますか。
- 回答 就職活動の早期化と長期化が混ざり合っている、と説明しましたが、来年4月入社に向けた活動継続に注力するか、再来年4月入社の新卒採用活動に注力するか、この2つであれば後者を採択します。
- 質問 M&Aを成長戦略の一つとして考えていますか。
- 回答 M&Aは手段として門戸を開いていますので、常に見ています。ただし、M&Aは手段にすぎず目的では無いので、戦略として申し上げたことは無いです。
- 質問 M&Aによる成長よりも、オーガニック成長を優先している、という理解で良いですか。
- 回答 技術開発の変化を含む動向は、ますます速度も加速し、範囲も拡大しています。数年前の予測から大幅に短縮された事例も多い。こうした市況で当社グループが、お客さまの要求に応え続けられる状態へ進化する、すなわち自ら進化した方が市場価値をより高められる、そして、このような集団の方が社会貢献できるし、社員にとっても望ましい、と考えます。

以上